

会 議 録

会議の名称	平成23年度第6回富士見市社会教育委員会議
開催日時	平成23年12月3日(土) 午前9時30分～12時
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	中澤佳珠代委員、前田憲之委員、羽石貴裕委員 高野昂子委員、西山ひろみ委員、武田秀規委員 長ヶ原美博委員 事務局(佐藤生涯学習副課長、加治主任)
欠席者	3人(児玉亮一委員、田尻 円委員、佐藤晃子委員)
公開・非公開	公開(傍聴人 0人)
会議次第	1. 協議事項 (1) 生涯学習関係5委員研修会について (2) 生涯学習フォーラムについて (3) 社会教育委員会議の年間協議テーマについて 2. 報告及び連絡事項 (1) 入間地区社会教育協議会第4回社会教育委員部会 (2) 平成23年度富士見市人権教育推進協議会視察研修会 (3) 入間地区社会教育協議会研修会 平成23年度社会教育関係委員・職員基礎研修事業 (4) その他 3. その他 (1) 会議の開催について
会議資料	①公民館だより11・12月号 ②入間地区市町社会教育関係委員・職員基礎研修会報告書 ③図書館要覧 ④人権教育講演会チラシ ⑤協議結果報告(提案と進捗状況) ⑥生涯学習関係5委員代表者会議報告
会議録確認	西山ひろみ委員

会 議 内 容 (要点記録)

○ 議長あいさつ

○ 報告及び協議事項

1. 協議事項

(1) 生涯学習関係5委員研修会について

・事務局から、研修会について会議資料に基づき説明を行う。

教育委員からの懇談のお願いと研修会の内容が各委員会からの活動報告を行うことになったことについて報告する。

(委員：議事進行)「研修会の報告について」、だれがどのような内容で行うか協議する。ご意見をお願いする。

(委員) 報告内容としては、これまでの提言など協議してきたことを報告するべきと思う。

(委員：議事進行) ご意見を受けて、報告内容としては、いままで社会教育委員がどういうことを協議してきたか、委員のPRも含めて経過報告をすることによっていか。

(委員全員) 了解する。

(委員：議事進行) 次に、報告者について協議する。各委員会とも団体の責任者が行うことで進められていると思う。西山議長を報告者とし、内容は一任したいがよろしいか。

(委員全員) 了解する。

(2) 生涯学習フォーラム（平成24年2月28日開催）について

・事務局から、日程など説明を行う。

(委員：議事進行) 関係委員からの説明をお願いする。

(委員) 実施日時は、2月28日午後1時20分開会。研修テーマは、「東日本大震災とこれからの社会教育」、副題として、危機管理と防災の地域づくりとなっている。事例発表として、水谷東公民館安心安全ネットワーク会議代表の清水実さんによる「安心安全のまちづくりと公民館」となっている。

(委員) 富士見市で行う「地域自治シンポジウム」、2月19日、ふじみ野交流センター実施と同じような内容で行うものと思われる。

(委員：議事進行) 報告のとおりで、了承することとする。次回、2月10日実施の入間地区社会教育協議会社会教育委員部会での決定事項は、事務局からお知らせをお願いする。

(3) 社会教育委員会議の年間協議テーマについて

(委員：議事進行) 協議テーマを決めることについては、前期の例で言うと16回の委員会のうち6回の委員会を費やした。まとめが大変であることから、早期に決めて審議していくことが求められている。

今回は、まず、事務局からこれまでの提言の実施と進捗状況の報告をお願いしたい。

・ここで、事務局から、会議資料に基づき提言の実施と進捗状況の説明を行う。

- (委員：議事進行) 事務局の報告を受けてご意見を願います。
- (委員) 社会教育委員 26 期、27 期の状況報告を受けた。これからとしては、新たなテーマを設けるのではなく、提案をグループ分けして、進捗状況を評価・検証していくことがよいのではないかと。
- (委員) これまでの提言について、進捗状況を把握し、項目ごとに優先順位をつけてテーマとしていくのがよい。
- (委員) 前回、いろんなことに関心のない人を振り向かせることをテーマに検討してきた。いま、現場には若い人がいないので、底辺を上げる意味で若い人が参加できる可能性を広げていくことを考えていきたい。次の人につなげる「後継者づくり」をソフト面で検討を進めてはどうか。
- (委員) 広報などを通じて、身近なことをわかりやすく伝える情報伝達方法を検討していきたい。
- (委員) 後継者づくりが課題と考えている。自分の関わってきた会でも、ほとんどが 60 代で、若い方が加わってもすぐに離れてしまう。生涯学習を広げつなげていくには重要な課題と思う。
- (委員) 進め方も含めてだが、これまでの提言をグループわけをして優先順位をつけ進捗確認し、課題を整理して再提起し具現化することを考えている。
- (委員) ひとつは、「後継者育成」が団体の問題になっていると思う。なぜこういうことになっているか、うまくいっていないのか、原因はなにかを考え提言していくことがよいのではないかと。もうひとつは、行政が事業を進めていくうえで抱えている課題・悩みなど伺い、その解決方法を提案していくことはどうか。
- (委員：議事進行) みなさんから意見を出してもらったので、まとめていきたい。次のとおり 3 つにまとめられる。
- ①後継者育成 4 人
 - ②情報に関する関心度アップ 2 人
 - ③これまでの提言に対する検証と優先度の高いものの改善 2 人
- テーマについては今回決めていきたい。
- 「行政が抱えている課題、その解決に向けた提言」を基本に、①と②を含め進めていくことでどうか。
- (委員) 後継者育成については、大阪や愛知で、生涯学習を学んだシニアが子どもたちに伝えるプログラムを作って指導者になって行っていく取り組みをしている。
- (委員) いろんなケースで後継者育成を考えていくことが必要に思う。成功例も失敗例も見えていくことは必要である。
- (委員) 活動については楽しい、行きたくなるということが必要である。
- (委員：議事進行) 主旨としては、「これまでの提言を検証し、優先度の高い課題の改善を提案する」とし、テーマを今後決めるということによりよい。進め方として、後継者育成など団体・行政に意見を聞き、改善提言をまとめていくこととしたい。
- (委員) 基本、了承する。

2. 報告及び連絡事項

(1) 平成23年度入間地区社会教育協議会第4回社会教育委員部会

(11月24日(火)午後2時～ 狭山市中央公民館 出席：羽石委員)

*研修会の反省が主な内容で以下のとおりであった。

- ・参加者は101名(社会教育委員55名…参加者が減少した)
- ・西部教育事務所には、「なぜこのような研修をしたのか」ということを申し入れをした。
- ・次年度は、事例発表に時間が足りないので、2テーマにしたほうがいい。
- ・分散会では、それぞれの委員が受け答えできるようにしておくことも必要。
- ・ふじみ野市の社会教育委員の廃止ということもあり、それぞれの地域で教育委員との懇談が大事ではないか。
- ・今回の事業は、生涯学習フォーラムと同じではないか。県に意見をいっていきべき。

(2) 平成23年度富士見市人権教育推進協議会視察研修会

(10月12日(水)群馬県大泉町 出席：長ヶ原委員)

- ・外国籍市民が16%いる町の多文化共生について、情報発信の取り組みなど人権の観点で研修をした。

(3) その他

①地域や所属団体などについての情報交換

- ・図書館協議会委員から、11月19日の会議の報告がありました。
- ・地域自治シンポジウム(2月19日)について、情報提供がありました。
- ・次回の日程は、2月4日土曜日、午前9時30分からとする。改めて、通知する。
(閉会)